



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 OCHIホールディングス株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 3166 URL <http://www.ochiholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 通広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 中村 尚生

TEL 092-711-9173

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	66,488	12.1	1,508	33.5	1,701	19.3	1,108	7.7
25年3月期第3四半期	59,328	0.7	1,129	15.3	1,426	12.7	1,028	12.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,212百万円 (17.1%) 25年3月期第3四半期 1,035百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	124.47	—
25年3月期第3四半期	115.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	43,443	9,136	21.0	1,022.47
25年3月期	38,947	8,049	20.6	900.50

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,102百万円 25年3月期 8,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想) 期末配当金内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 2円00銭

詳細は、本日(平成26年2月5日)公表いたしました「配当予想の修正(東証二部上場記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,300	8.9	1,840	31.2	2,030	14.8	1,350	4.9	151.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,073,980 株	25年3月期	9,073,980 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	171,835 株	25年3月期	171,725 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,902,198 株	25年3月期3Q	8,902,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における住宅関連業界におきましては、日本経済全体の好況感に加え、住宅ローン金利や住宅資材価格の先高観が個人の住宅取得マインドを後押ししました。また、平成26年4月の消費税増税をにらんだ駆け込み需要や各種補助金の交付も重なり、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は、前年同期比12.7%増となりました。当第3四半期末時点の単月ベースでの新設住宅着工戸数における前年比は16ヵ月連続で増加し、1992年6月から1994年2月までの21ヵ月連続以来、約20年ぶりの記録となっております。

このような状況の中で当社グループは、自然環境への配慮や電力買取制度などからゼロエネルギー住宅への関心が高まる中、太陽光発電をはじめとする創エネルギー商材や断熱材、遮熱材などの省エネルギー商材の販売拡充に努めてまいりました。さらに、ゼロエネルギー住宅を提案することができるパッケージ商品「O c h i Z E R Oエネルギー住宅」の提案を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,488百万円（前年同期比12.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は1,508百万円（前年同期比33.5%増）、経常利益は1,701百万円（前年同期比19.3%増）、四半期純利益は1,108百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

※平成25年5月1日付でセグメントの名称を下記のとおり変更しておりますが、名称の変更のみであり区分等の変更はございません。この名称変更は、事業展開の方向性を明示するとともに、ビジネスのチャンスを幅広く捉えることを目的としております。

＜変更前＞	＜変更後＞
建材・住設事業	建材事業
生活用品事業	生活事業
プレカット事業	加工事業

＜建材事業＞

新設住宅着工戸数の堅調な推移と太陽光発電システムをはじめとする創エネルギー商材、断熱材などの省エネルギー商材の販売拡充に努めた結果、当事業の売上高は52,442百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は1,224百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

＜生活事業＞

販売先の拡充及び小型家電商品の販売促進に努めたものの、北海道、東北地区において気温低下が進まず積雪量が少なかったこともあり、主力商品である暖房機器の販売が伸び悩みました。その結果、当事業の売上高は5,714百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は78百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

＜加工事業＞

原材料の値上げによる売上総利益率の低下が見られたものの、堅調な住宅需要の増加を背景に、加工事業の受注は順調に推移しました。また、過年度にプレカット加工機を一部新設し生産能力を高め、戸建て住宅だけでなく、非住宅市場にも営業を展開してまいりました。その結果、当事業の売上高は8,522百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は493百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比べ4,496百万円(11.5%)増加し、43,443百万円となりました。売上高の増加に伴い「受取手形及び売掛金」が2,540百万円増加したこと、また、「現金及び預金」が894百万円、「商品」が701百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ3,408百万円(11.0%)増加し、34,306百万円となりました。有利子負債の圧縮に注力した結果、「短期借入金」が35百万円、「長期借入金」が905百万円それぞれ減少しましたが、仕入高の増加に伴い「支払手形及び買掛金」が4,491百万円増加したことが主な要因であります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,087百万円(13.5%)増加し、9,136百万円となりました。四半期純利益が1,108百万円、利益剰余金の配当が124百万円であったことにより、「利益剰余金」が983百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

連結子会社である越智産業㈱は、平成25年4月に確定給付企業年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間において14百万円の特別利益を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,904	4,798
受取手形及び売掛金	19,538	22,078
商品	2,380	3,081
未成工事支出金	342	624
その他	579	479
貸倒引当金	△166	△83
流動資産合計	26,578	30,980
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,876	5,876
その他(純額)	2,351	2,165
有形固定資産合計	8,228	8,042
無形固定資産	160	251
投資その他の資産		
その他(純額)	4,043	4,307
貸倒引当金	△63	△138
投資その他の資産合計	3,980	4,168
固定資産合計	12,368	12,463
資産合計	38,947	43,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,997	26,488
短期借入金	2,977	2,941
未払法人税等	433	230
賞与引当金	352	194
その他	993	1,252
流動負債合計	26,754	31,107
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	2,538	1,633
退職給付引当金	297	230
役員退職慰労引当金	190	185
負ののれん	107	—
その他	1,009	1,050
固定負債合計	4,143	3,199
負債合計	30,897	34,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	400	400
資本剰余金	913	913
利益剰余金	6,564	7,547
自己株式	△76	△76
株主資本合計	7,800	8,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	317
その他の包括利益累計額合計	215	317
少数株主持分	32	34
純資産合計	8,049	9,136
負債純資産合計	38,947	43,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	59,328	66,488
売上原価	52,539	58,949
売上総利益	6,788	7,539
販売費及び一般管理費	5,659	6,030
営業利益	1,129	1,508
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	20	22
仕入割引	110	125
不動産賃貸料	71	82
協賛金収入	4	4
負ののれん償却額	226	113
その他	71	61
営業外収益合計	515	417
営業外費用		
支払利息	50	37
売上割引	125	146
不動産賃貸費用	34	32
その他	7	8
営業外費用合計	217	224
経常利益	1,426	1,701
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	0	10
ゴルフ会員権売却益	—	0
負ののれん発生益	12	—
退職給付制度改定益	—	14
補助金収入	51	—
特別利益合計	66	26
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	9	—
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	10	3
税金等調整前四半期純利益	1,482	1,724
法人税、住民税及び事業税	361	477
法人税等調整額	90	137
法人税等合計	451	614
少数株主損益調整前四半期純利益	1,031	1,110
少数株主利益	2	1
四半期純利益	1,028	1,108

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,031	1,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	102
その他の包括利益合計	4	102
四半期包括利益	1,035	1,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,032	1,210
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

※平成25年5月1日付でセグメントの名称を下記のとおり変更しておりますが、名称の変更のみであり区分等の変更はございません。この名称変更は、事業展開の方向性を明示するとともに、ビジネスのチャンスを幅広く捉えることを目的としております。

<変更前>	<変更後>
建材・住設事業	建材事業
生活用品事業	生活事業
プレカット事業	加工事業

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	生活事業	加工事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,600	5,734	6,993	59,328	—	59,328
セグメント間の内部 売上高または振替高	163	0	47	211	△211	—
計	46,763	5,734	7,041	59,539	△211	59,328
セグメント利益	876	94	390	1,361	△231	1,129

(注) 1 セグメント利益の調整額△231百万円には、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△233百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

越智産業(株)(連結子会社)は、平成24年11月12日に(株)ホームコア(連結子会社)の株式を追加取得し完全子会社といたしました。これに伴い「建材事業」セグメントにおいて12,444千円の負ののれん発生益を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	生活事業	加工事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,312	5,714	8,462	66,488	—	66,488
セグメント間の内部 売上高または振替高	129	—	60	190	△190	—
計	52,442	5,714	8,522	66,679	△190	66,488
セグメント利益	1,224	78	493	1,796	△288	1,508

(注) 1 セグメント利益の調整額△288百万円には、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△287百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。